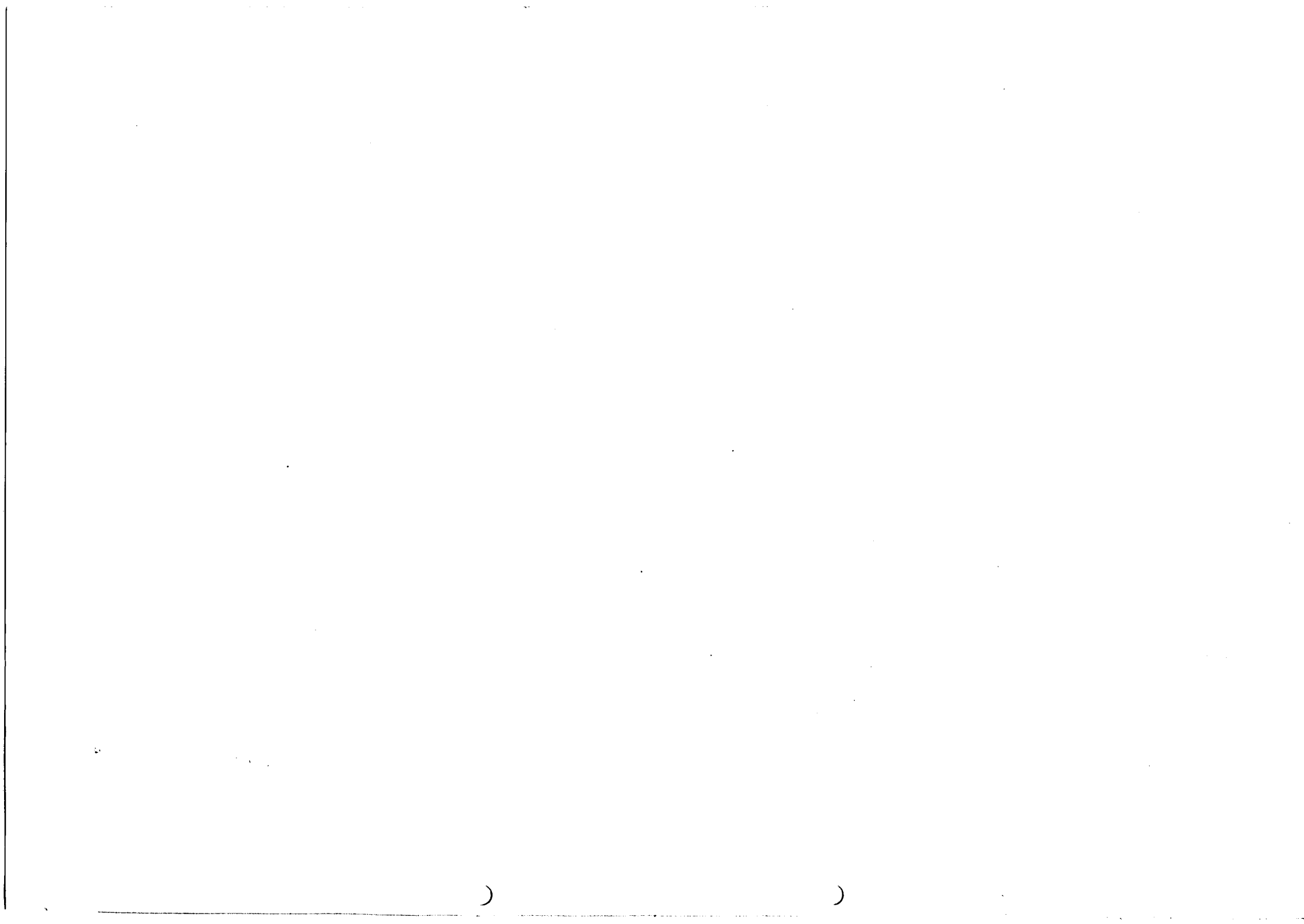


平成 2 8 年 度

主 要 施 策 の 成 果 説 明 書

いちき串木野市



地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づく平成 28 年度いちき串木野市一般会計、同特別会計（簡易水道事業会計、国民健康保険会計、公共下水道事業会計、地方卸売市場事業会計、介護保険会計、戸崎地区漁業集落排水事業会計、療育事業会計、後期高齢者医療会計、国民宿舎会計）の主要な施策の成果は、次のとおりである。

平成 29 年 7 月 27 日

いちき串木野市長 田 畑 誠 一

目 次

平成 28 年度決算の概要

1.	まえがき	3
2.	平成 28 年度各会計別予算額及び決算額調べ	5
3.	主要施策の成果	6
(1)	一般会計	19
(2)	簡易水道事業特別会計	168
(3)	国民健康保険特別会計	175
(4)	公共下水道事業特別会計	188
(5)	地方卸売市場事業特別会計	196
(6)	介護保険特別会計	200
(7)	戸崎地区漁業集落排水事業特別会計	215
(8)	療育事業特別会計	220
(9)	後期高齢者医療特別会計	224
(10)	国民宿舎特別会計	229
(11)	参考資料	234

平成 28 年度決算の概要

1. まえがき

平成 28 年度の我が国の経済は、経済政策（アベノミクス）の取組により、雇用・所得環境は改善し、緩やかな回復基調が続いております。

また、一億総活躍社会の実現に向け、「新・三本の矢」を推進すること等により、経済の好循環を一時的なものに終わらせることなく、地方においても実感できるよう取組んできているところであります。

地方自治体においては、本格的な人口減少社会の中で、市民ニーズの高度化・多様化等に対処するため積極的な行財政改革に取り組むとともに、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方創生への取組を行ったところであります。

本市においても、「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、第三次行政改革大綱及び関連計画など各種計画を策定し、『ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち』を目指すいちき串木野市総合計画の確実な推進を図るため、国の財政措置を活用しながら、次の4つの基本方針に沿って重点的・効率的に施策を推進しました。

- 1) 住民と行政のパートナーシップによる『共生・協働のまちづくり』
- 2) 健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』
- 3) 世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力ある産業のまちづくり』
- 4) 利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』

平成 28 年度の本市の決算は、いちき串木野市第 2 次総合計画及び前期基本計画策定、「環境維新のまちづくり」を推進するための「㈱いちき串木野電力」の設立、野平交流センター整備事業や学校給食センター建設事業に着手したほか、最終処分場建設、麓土地区画整理など従来からの継続事業を実施したところであります。

さらに、生冠中学校グラウンド改修事業及び公立小中学校・幼稚園空調設備整備調査など教育施設の整備充実のための事業、企業誘致補助、食彩の里いちきくしきの直売所整備、種子島周辺漁業対策事業による食堂施設建設への補助、観音ヶ池市民の森トイレ整備、地域おこし協力隊事業、ふるさと納税推進事業などの地域活性化のための事業に加え、子ども医療費助成事業、合併処理浄化槽設置整備補助金や住宅リフォーム事業補助金など市民生活の各面にわたる事業を実施し、概ね所期の成果を収めることができました。

また、土川交流センターに要援護者等屋内退避施設の整備を行うとともに、原子力防災訓練、防災情報メール配信事業や救助工作車の更新など市民の安心安全確保のための事業を実施したほか、4 月 16 日に発生しました熊本地震に対しまして、緊急消防援助隊や職員を派遣するとともに、被災地へ物資支援の協力を行ったところです。

このような事業を推進したうえで、平成 28 年度の一般会計及び特別会計は、すべて収支の均衡を保つことができましたことに対し、市民の皆様には感謝を申し上げたいと思います。

本市の財政状況は、国の景気対策の影響や行財政改革の効果等により一定の改善が図られておりますが、普通交付税が段階的に縮減するなど従来にも増して、厳しい財政状況が見込まれます。今後の財政運営にあたりましては、これまで以上に事業の選択と集中を実践するとともに国県の動向等を見極めながら適切に対応する必要があります。

市民の皆様への行政サービスを安定的に提供していくためには、引き続き行財政改革を進め、持続可能な自治体として健全財政を堅持していかなければならないと考えておりますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2. 平成28年度各会計別予算額及び決算額調べ

(単位:円)

区 分	一般会計	特 別 会 計										合 計
		簡易水道	国民健康保険	公共下水道	地方卸売市場	介護保険	戸崎地区漁集	療 育	後期高齢者医療	国民宿舎		
予 算 現 額	当初予算額	15,140,000,000	559,939,000	5,080,886,000	705,275,000	714,000	3,580,157,000	15,821,000	21,020,000	411,183,000	6,306,000	25,521,301,000
	補正予算額	1,472,740,000	△ 37,020,000	△ 92,174,000	△ 10,577,000	0	45,364,000	2,600,000	33,000	4,024,000	6,400,000	1,391,390,000
	予算繰越額	1,274,193,000	64,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,338,193,000
	計	17,886,933,000	586,919,000	4,988,712,000	694,698,000	714,000	3,625,521,000	18,421,000	21,053,000	415,207,000	12,706,000	28,250,884,000
決 算 額	歳 調定額	17,691,175,520	569,560,824	4,955,011,381	691,142,924	610,490	3,607,581,397	17,739,881	19,876,295	414,014,818	11,431,436	27,978,144,966
	入 収入済額	17,201,802,441	553,528,141	4,811,797,479	689,172,493	610,490	3,585,349,638	17,739,881	19,876,295	413,203,693	11,431,436	27,304,511,987
	歳 出決算額	16,568,707,355	553,390,606	4,793,390,758	689,172,493	610,490	3,466,801,057	17,739,881	19,876,295	412,613,193	11,431,436	26,533,733,564
予算現額 と決算額 との比較	歳 入	△ 685,130,559	△ 33,390,859	△ 176,914,521	△ 5,525,507	△ 103,510	△ 40,171,362	△ 681,119	△ 1,176,705	△ 2,003,307	△ 1,274,564	△ 946,372,013
	歳 出	1,318,225,645	33,528,394	195,321,242	5,525,507	103,510	158,719,943	681,119	1,176,705	2,593,807	1,274,564	1,717,150,436
歳入歳出差引額		633,095,086	137,535	18,406,721	0	0	118,548,581	0	0	590,500	0	770,778,423
繰越明許費繰越額 (繰越すべき財源)		66,264,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,264,000
継続費繰越額 (繰越すべき財源)		12,446,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,446,000
実 質 収 支 額		554,385,086	137,535	18,406,721	0	0	118,548,581	0	0	590,500	0	692,068,423
うち地方自治法第233条 の2の規定による基金繰 入額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 主要施策の成果

平成28年度の行財政の運営は、次の重点施策に沿って各分野にわたり、計画的・効率的に執行し、その主な内容は次のとおりである。

1. 住民と行政とのパートナーシップによる『共生・協働のまちづくり』

(1) 心の通い合う住民主役の施策充実

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 市政懇話会開催事業 市民に開かれた市政の推進のため、申込みのあった6地区(生福・大原・照島・荒川・中央・湊)で255人の市民の参加により「市政懇話会」を開催した。各地区からいただいたテーマについて取組等を説明し、意見交換を通じて建設的な提言や意見を受け付けた。</p>	—
<p>○ いちき串木野市第2次総合計画及び前期基本計画策定事業 平成38年度を目標年度とする基本構想及び平成33年度までの5ヶ年の基本計画の策定を行った。計画策定にあたり、審議会の開催(6回)のほか、市民意識調査や地区別ヒアリング、パブリックコメントを実施し、意見の反映に努めた。</p>	82
<p>○ いちき串木野市まち・ひと・しごと総合戦略の事業評価 平成27年10月に策定した総合戦略について、具体的施策ごとに4段階の評価を行った。49項目中、A評価の「取組を実施した」が38項目(78%)、B評価の「取組を一部実施」が5項目(10%)、C評価の「方針、具体策を検討中」が6項目(12%)、D評価の「未着手または施策の見直しが必要」は0項目という結果となった。</p>	—
<p>○ 地域おこし協力隊事業 地域の活力維持と魅力の再発見、情報発信につなげるため、地域おこし協力隊を3名採用した。最長3年間の活動期間の中で、定住・定着、起業も視野に地域おこし活動を行った。(移住・定住支援員1名・食のまちづくり支援員1名・観光支援員1名)</p>	81-82 132
<p>○ 空き店舗活用留学生等居住支援事業 商店街の空き店舗等を居住・交流施設として再生することにより、留学生や企業研修生、移住定住のお試し居住者などのまちなか居住を確保することとして、いちき串木野商工会議所が行った建物改修等に係る経費の補助を行うとともに、プロジェクトに産学官が連携して取り組んだ。</p>	82
<p>○ 空家等対策計画策定事業 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、本市の空家等の利活用の促進や地域住民の生活環境の保全など、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための、基本方針や具体的対策等を定めた空家等対策計画を策定した。</p>	

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 共生・協働のまちづくりの取組 新たな地域自治組織として構成された市内16地区のまちづくり協議会において、まちづくりの推進計画となる「地区まちづくり計画」が全協議会で策定され、その計画に基づいた事業が実施されている。取組としてはソフト事業、ハード事業等の補助金や、運営補助金等により特色ある共生・協働のまちづくりをの活動を支援するとともに、市の広報紙配布業務の委託などの財政支援や、地区担当職員による人的支援を行い、市民が主体となるまちづくりの推進に努めた。</p>	83-84
<p>○ 自治基本条例推進の取組 公募や団体推薦の委員を中心とする「自治基本条例推進審議会」において、市民が主役のまちづくりを推進するための自治基本条例に基づいた、市民自治によるまちづくりのあり方や啓発について研究・検証する取組を実施した。</p>	—

(2) 抜本的な行財政改革の推進

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 平成28年3月に策定した第三次行政改革大綱推進計画(計画期間:平成28年度～平成32年度)に基づき行政改革に取り組んだ。 【主な項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は、退職者15名に対し採用予定者16名(新規採用者8名、新規短時間勤務再任用者8名)とし、定員適正化計画の目標を下回るよう努めた。 ・特別職給料の独自カット(1%～10%)を継続した。 ・未利用市有地を処分し、歳入の確保及び経常経費1パーセントの削減に取り組み、歳出の抑制を図った。 ・財政負担の軽減及び平準化を図るため、公共施設の長寿命化、集約化・複合化、転用・除去などを盛り込んだ「公共施設等総合管理計画」を策定した。 ・事務事業の必要性、費用対効果、経費負担の観点から事務事業等の見直しを行った。 ・指定管理者選定審議会を4回開催し、公募分13施設の更新及び新規公募分3施設の導入を協議した。(平成29年4月から96施設に指定管理者制度を導入) ・平成28年4月1日から無償貸付けしていた国民宿舎串木野さのさ荘を、平成28年10月に建物は無償譲渡、土地は無償貸付を行った。 ・繁忙期にフロアマネージャーや休日窓口等を設置し、市民サービスの充実を図った。 	—

2. 健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』

(1) 環境の保全

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 資源物分別収集の実施 ○ ごみの減量化及び再資源化 ○ ごみの収集及び処理 ○ 市有墓地の施設整備 ○ 苦情処理、公害防止監視測定</p> <p>○ 危険廃屋解体撤去工事補助 ○ いちき串木野市・日置市衛生処理組合負担金</p> <p>悪臭測定、河川等水質の調査、苦情処理等により生活環境の保全を図った。また、資源物の分別の周知を図り、資源の有効利用の促進を図った。</p>	111-114

(2) 消防・防災・防犯体制の整備

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 要援護者等屋内退避施設整備事業 川内原子力発電所から10Km圏内にある土川交流センターについて、緊急時に即時避難が困難な避難行動要支援者を安全に避難させるため、放射線防護機能を付加した一時的な屋内退避施設として整備し、原子力災害時における住民の安全性の向上を図った。</p> <p>○ 総合防災訓練実施事業 旭地区で総合防災訓練を実施し、災害発生時に、防災関係機関等が緊密な連携を保ちながら、情報連絡、救出、救護訓練及び災害復旧等の災害応急対策を迅速、適切に行えるよう防災体制の確立を図った。併せて、住民による、地域で連携した避難行動を確認するとともに、住民の防災意識の高揚を図った。</p> <p>○ 自主防災活動助成金 防災活動を積極的に推進する自主防災組織を支援し、防災訓練、地域防災リーダーの養成等地域防災力の向上を図った。</p>	147
<p>○ 消防職員教育事業 県消防学校の教育において、初任教育1名、救助科に1名、火災調査科に1名、また、福岡市消防学校において、九州地区警防実務研修会に1名が受講、更には、救急現場において、救命処置の拡大や従来以上の高いレベルの観察と判断、対応が求められるようになったことから、北九州市の救急救命九州研修所において、指導救急救命士1名、救急救命士を1名養成した。本年3月の国家試験に合格、現在15名の救命士を中心に救急現場で、より迅速確実な救命処置が実施されているとともに、職員の士気高揚及びスキルアップが図られた。</p> <p>○ 消防施設整備事業 消防署においては、既に25年経過した救助工作車を最新鋭の車両に更新整備した。また、消防団においては、消防団員服制基準が改正されたことに伴い、全団員に新基準の活動服を整備し、団員の士気向上を図った。さらに、消防署、消防団ともに消防用ホースを整備し、消防活動における消防力の充実強化が図られた。</p>	145-147

(3) エネルギー対策の推進

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 原子力発電施設周辺地域加算給付金交付事業 川内原子力発電所から概ね10kmの圏域にある羽島地区及び荒川地区の振興と地域福祉の向上を図ることを目的として、地区内の電灯需要家(1,248戸)及び電力需要家(18,523kw)に対し、原子力発電施設等周辺地域給付金の加算措置を行った。</p>	81
<p>○ 地域新電力事業 電力システム改革に伴い、民間と行政が共同してエネルギーと産業おこしを組み合わせた「環境維新のまちづくり」を推進するため、10月に市が51%出資した「(株)いちき串木野電力」を設立し、電力供給を開始した。</p>	82

(4) 社会福祉の充実

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
①社会福祉活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員・児童委員活動の促進 ○ 社会福祉法人指導監査 <p>福祉行政の推進的役割をもつ民生委員・児童委員の活動を促進助成することにより、生活困窮者の早期発見、実態把握、更生指導、青少年の健全育成、低所得者の生活相談、福祉サービスの利用相談等を推進し、高齢者、障害者、児童等に対する福祉活動の促進を図った。また、民生委員・児童委員の協力を得て、避難行動要支援者の把握を行った。民生委員・児童委員の改選(3年間)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営確保を図るため、社会福祉法人の指導監査を行った。 ○ 臨時福祉給付金給付事業 <p>平成26年4月の消費税上げによる影響を緩和するため、所得の低い方々への制度的な対応を行うまでの暫定的・臨時的な措置として、年金生活者・障害のある方・住民税が非課税の方などへの給付を行った。</p>	92-93
②障害者(児)福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別障害者手当等給付事業 ○ 心身障害者扶養共済制度事業 ○ 重度心身障害者医療費助成事業 ○ 障害者総合支援制度 ○ 障害者総合支援制度の円滑な事業推進のため、障害支援区分認定審査会などを実施したほか、自立支援給付事業の実施、意志疎通支援事業などの地域生活支援事業を実施し、社会参加の促進を図った。その他、重度障害者の特別障害者手当等の支給、医療費の助成等により、障害者の福祉充実を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・補装具給付事業 ・介護給付費 ・訓練等給付費 ・障害支援区分認定審査会 ・自立支援医療(更生医療・育成医療・療養介護医療) ・地域生活支援事業 	93-95
③高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅寝たきり者等介護手当支給事業 ○ 紙おむつ等支給事業 ○ 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 ○ はり・きゅう及びマッサージ施術料助成 ○ 在宅福祉アドバイザー活動促進事業 ○ 日常生活用具給付事業 ○ 長寿祝金支給事業 ○ 訪問給食サービス事業 ○ 緊急通報体制等整備事業 ○ 高齢者実態把握事業 ○ 高齢者等住宅改造推進事業 ○ シルバー人材センター運営補助事業 ○ 老人保護措置(養護老人ホーム) ○ 高齢者クラブ運営補助事業 <p>高齢者福祉の向上を図るため高齢者福祉計画に基づき、養護老人ホームへの措置を行ったほか、健康と生きがいの充実や社会参加の機会の増大に努め、高齢者の地域活動を促進するとともに介護手当の支給などを行い、在宅福祉の向上を図った。高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク運営協議会を開催し、関係機関との連携を高め、虐待の早期発見等に努めた。</p>	96-98
④介護保険の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護保険の制度について、広報等で周知を図った。 ○ いちき串木野市地域包括支援センターで、地域支援事業(新しい総合事業)や新予防給付を実施し、介護予防や介護度の悪化防止に努めた。 ○ 低所得者対策として、社会福祉法人のサービス利用者等に対する減免制度を実施した。 ○ 高額介護の自動償還払いや住宅改修の受領委任払制度を引き続き実施し、サービス利用者の利便性向上を図った。 ○ 介護相談員事業を実施し、サービス利用者の不安・疑問・不満等の相談や解消に努めた。 ○ 徘徊・見守りSOSネットワークにより、認知症等の見守り体制を促進した。 ○ 高齢者元気度アップ・ポイント事業等を実施し、高齢者の「健康づくり活動」や「ボランティア活動」などへ個人、団体の参加を支援した。 ○ 公民館等における体操の取組を推進し、地域の自主性を活かした介護予防の取組みを図った。 ○ 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え「地域包括ケアシステム」の構築の取組みを図った。(在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、地域ケア会議推進事業) 	98-99 200-214

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
⑤児童福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育事業 ○ 地域子育て支援センター事業 ○ 未来の宝子育て支援金事業 ○ 児童扶養手当給付事業 ○ 児童発達支援事業 ○ 社会福祉施設整備事業 ○ 子育て支援パスポート事業(パスポート支給枚数年間200枚、協賛店舗延べ51店舗) ○ 一時的保育事業 ○ 子育て支援員配置事業 ○ 乳児紙おむつ購入費助成事業 ○ ひとり親家庭等医療費助成事業 ○ 延長保育促進事業 ○ 児童扶養手当システム及び子ども子育て支援システム改修事業 ○ 特別保育事業(障害児保育・地域活動事業) ○ 放課後児童健全育成事業 ○ 児童手当給付事業 ○ 母子家庭自立支援給付金事業 ○ 病児・病後児保育事業 <p>児童福祉の向上を図るため、未来の宝子育て支援金制度のほか、乳児紙おむつ購入費助成事業を実施するなど負担の軽減を図るとともに、平成28年4月からスタートした認定こども園2園に対しても保育施設等給付費を支給した。</p>	99-103
⑥生活保護及び災害救助対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活保護受給者に対して他法他施策の活用など生活保護制度の適切な運用に努め、最低限度の生活を保障するとともに、就労支援相談員を配置し、稼働能力を有する生活保護受給者の自立助長を図った。 ○ 生活保護に至らない生活困窮者に対して生活困窮者自立支援制度により支援相談員を配置し、自立に向けて関係機関と連携しながら相談支援、就労支援などを行った。 	103-104
⑦勤労女性福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 働く女性の家の各種講座を通じて、生涯学習の推進やグループ活動を促進し、勤労女性の労働福祉の向上を図った。 <p>働く女性の家については、平成22年4月から市社会福祉協議会に指定管理委託して、管理運営・利用促進を図っている。</p>	115

(5) 保健医療の充実

	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種予防接種 ○ 救急医療施設運営事業 ○ 妊産婦健康診査 ○ 健康増進事業 <p>生活習慣病予防対策として各種がん検診(複合健診、土日健診、女性がん予約検診)や健康診査、健康教育を進めるとともに「健康増進センター」を拠点として市民の健康増進に努めた。</p> <p>医療を必要とする未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行った。</p> <p>感染症予防対策として、各種予防接種やレントゲン検診を行った。</p> <p>妊婦健康診査を14回実施し、安心・安全な妊娠出産を支援するとともに、不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図る不妊治療費の助成を行った。</p> <p>健康づくりの指標となる第2次いちき串木野市健康増進計画・いちき串木野市食育推進計画を策定した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未熟児養育医療給付事業 ○ 乳幼児健康診査 ○ 不妊治療費助成事業 ○ 運動普及推進事業 ○ 子ども医療費助成事業 ○ 国民健康保険特別会計財政対策費 ○ 食生活改善事業 ○ 健康なまちづくり事業 ○ 歯科検診及び歯科保健指導 ○ 感染症予防事業 ○ 母子保健推進事業 ○ 自殺対策事業 	106-110

(6) 教育環境の整備

	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の施設整備 <p>生冠中学校のグラウンド改修等を行い学校環境の充実に努めた。</p> <p>また、市内全ての公立小中学校、幼稚園に空調設備を整備するための基本調査を行った。</p>		150-152

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進 ・学校評議員会の運営 ・特認校制度(旭小・荒川小・冠岳小・川上小) ・特別支援教育支援員配置事業の実施 ・スクールカウンセラー配置事業の実施 ・スクールソーシャルワーカー配置事業の実施 ・市教育支援センターの設置 ・外国語指導助手の活用 ・小学校外国語活動指導補助員派遣事業の実施 ・教職員研修補助 ・教材備品の充実 ・就学援助費等各種教育扶助 ・奨学資金の貸付及び制度の見直し <p>小中一貫教育等の推進及び教育環境の整備を図り、教育指導の効果を高めるとともに、就学経費の負担軽減による育英奨学の充実に努めた。</p>	148-152
<p>○ 学校給食センター建設事業</p> <p>学校給食センター建設に係る用地を購入し、新学校給食センターの基本設計を実施したほか、基本設計及び造成工事に必要な地質調査及び造成設計を行った。</p>	162

(7) 社会教育の充実と文化の振興

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 生涯学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による「まちづくり出前講座」の実施 ・各種公民館講座の開設 ・高齢大学の開設 ・自主講座活動の支援 ・生涯学習大会(学習成果発表、講演会、展示等)の開催 <p>市民の生涯各期にわたる学習の場の設定と学習機会の拡充を図った。</p>	153-156
<p>○ 社会教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育有志指導者の養成研修 ・社会教育関係団体の育成と支援、自主活動の促進 ・家庭教育学級等の開設、子育て講座の実施 ・家庭教育支援事業及び学校支援事業の実施 <p>社会教育推進のため、社会教育関係団体等への支援、指導者の育成を図るとともに家庭教育の充実に努めた。</p>	153
<p>○ 青少年教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体組織及び育成者組織の拡充 ・アドベンチャー事業の実施 ・ジュニアリーダー育成事業の実施 ・青松塾の開催 ・ふるさと塾の実施 ・学校開放事業(チャレンジ教室)の実施 ・放課後子ども教室の開設 <p>家庭、学校、地域の連携を深め、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに、市民総ぐるみの「あいさつ運動」に取り組んだ。</p>	157-158
<p>○ 芸術文化の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市文化祭を通して、市民の豊かな心を培う芸術文化の振興を図った。 ・市町村による青少年劇場、文化芸術による子供の育成事業などを実施し、文化意識の高揚に努めた。 	154
<p>○ 文化財の保存・整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料の展示 ・郷土芸能の伝承に努め、運営補助を実施 ・文化財の標柱・説明板や周辺環境の整備を図った。 ・市内に残る貴重な郷土史料の収集を行った。 ・金山交流会を実施し、金山等を持つ市町村と連携し、文化財の保護、活用について話し合った。 ・新たに「旧入来邸武家屋敷と古木」を市指定文化財に指定し、保護に努めた。 	154
<p>○ 図書館活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動推進事業(ブックスタート・セカンドブック事業) ・移動図書館の巡回 ・団体貸付 ・学級文庫貸付 ・学校図書館との連携 ・読み聞かせ等の実施 ・調べ学習のための資料収集、提供 ・高齢者等への宅配 ・読書ボランティアグループや親子読書会などの活動支援等各関係団体との連携を図った。 ・ビブリオバトル大会を実施し、読書に親しむ機会の拡充とプレゼンテーションの場の提供を行った。 	156-157

(8) 社会体育の振興

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 指導体制の充実 各種研修会並びに講習会等を通して社会体育担当者、スポーツ推進委員並びにスポーツ少年団指導者等の資質の向上に努め、スポーツ教室の開催、組織の育成等市民へ適切な指導助言を行い、体育・スポーツの普及に努めた。</p>	159
<p>○ 生涯スポーツの充実 市民が「いつでも・どこでも・だれでも」気軽にスポーツに参加できる機会を提供するため、個々のスポーツニーズに応じたスポーツ教室・ウォーキング大会等を開催し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりと健康の保持増進に努めた。</p>	
<p>○ スポーツ施設の整備 既存のスポーツ施設並びに学校体育施設を活用して、体育・スポーツの振興に努め、市民の健康増進はもちろん、県内外からのスポーツ合宿や競技大会の誘致により市民の更なる競技力の向上に努めた。</p>	160-162
<p>○ 競技スポーツ団体との連携強化及び各種大会への補助 社会体育推進のため体育協会と連携を深め、組織の育成とスポーツ人口の拡大並びに競技力の向上を図るとともに、各種大会等への出場補助金を支出し、体育・スポーツの充実に努めた。</p>	159-160

(9) 総合運動公園の整備

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ 豊かな自然環境を生かし、「スポーツ活動の総合的な活発化」「新たな地域活動・生涯スポーツ・文化活動等」を生み出すスポーツコミュニティ公園の維持管理に努め、更なる利用者の利便性向上を図った。</p>	160-161

(10) 国際交流の充実

主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
<p>○ いちき串木野市国際交流協会が実施した「市民との交流・ふれあい事業」、「国際交流出前講座」やいちき串木野市・サリナス市姉妹都市協会が実施した「第14回サリナス市高校生派遣事業」などの国際交流事業を支援したほか、新たに小中学生を対象とした「イングリッシュキャンプ」を7月に開催し、「英語のまち」の充実に努めた。</p>	82

3. 世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力ある産業のまちづくり』

(1) 産業の振興と基盤整備

主要施策項目	主要施策の概要	実績等参照ページ
①農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金事業(新たに専門的に就農した販売農家で継続的な営農を行う就農時45歳未満の者に対して、平成24年度から国の制度による給付金を交付する)を実施した。 ・地域農業の将来のあり方について、地域の話し合い等により、中心となる経営体(個人、法人)と、農地の貸し借りによる集積及び活用等の方策を盛り込んだ人・農地プランの作成に取り組んだ。(人・農地プラン) ・農地中間管理事業委託を受け、農地の集積に努め、農地中間管理事業を実施した。 ・中山間地域等直接支払交付金制度と多面的機能支払交付金制度による活動の推進を図り、共同作業などの取り組みを支援し、農地の持つ多面的機能の発揮に向けた活動、並びに農業生産の維持が図られた。 ・環境保全型農業を推進するため、土づくりの意識定着を図る目的でたい肥助成事業を実施するとともに、農家所得の向上や特産品化を目指すために農業用ハウス設置補助事業等を推進した。 ・主に露地野菜生産農家等を対象とした「安心・安全な野菜作り講習会」を実施し適正な農薬使用と薬剤散布時の事故防止活動に取り組んだ。 ・「農業を始めたい」、「もっと農業を知りたい」という市民を対象に「安心・安全な農作物づくり」等、露地とハウス施設を活用した野菜栽培を主とした「市民農業塾」に取り組んだ。 ・「農業に興味がある」「野菜づくりを始めたい」という農業初心者の女性を対象に、「チャレンジ農業♥おごじょ塾」を開催し、野菜づくりの基礎講習や栽培実習、料理・加工体験に取り組んだ。 ・市単独6次産業化推進補助金を交付し、6次産業化の取り組みを支援した。 	117-119
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基盤整備促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・川南地域の担い手農家・集落営農の育成を図り有効な営農体系を確保するため、全体面積46.9haのうち、ほ場整備を18.6ha実施した。 	122
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農村振興対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「市グリーン・ツーリズム協議会」の運営を支援し、市内の農林水産業、商工業と連携した地域ぐるみの都市との交流の推進を図った。 ・「市担い手育成総合支援協議会」を中心として、関係機関・団体が連携を図るとともに、農業担い手の確保・育成並びに農業振興を図った。 ・旬の地域食材を活用した加工食品を生活研究グループで製作し、地域イベント等で提供するなど、女性参画の推進、地域の振興と活性化並びに地産・地消への取組みが図られた。 	119
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水田営農対策 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から始まった農業者経営所得安定対策の周知や農家の申請手続きの支援を行った。 ・市の「食のまちづくり」対策の一環で、本市特産焼酎の焼酎麴用米として地元産米の活用が促進されるよう取り組んだ。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業施設維持 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設(用排水路、農道等)の改良・補修を実施した他、補修用の材料を支給し、施設機能の長寿命化を図り農作業の安全性の向上と省力化を図った。 ・農道などの維持工事、また、水不足などの解消を図るため、用水路等の改修工事を行った。 	120
②畜産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金制度を活用し、優良系統な繁殖雌牛の保留に努め経営安定を図った。 	120

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
③林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する多面的機能の確保のため、森林整備地域活動支援交付金制度の推進を図った。 	123-124
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松くい虫防除事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松くい虫を適期に防除するため、薬剤の地上散布を行うとともに景勝松林保全事業により、小瀬保安林、パークゴルフ場、市来温泉センター周辺の松に薬剤の樹幹注入を行い、松資源の保護と保安林としての公益的機能の保全を図った。 	124
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県営林道開設事業(舟川野下線) <ul style="list-style-type: none"> ・川上地域(舟川集落)から日置市の東市来地区(野下集落)までの森林の適切な森林施業を目的として林道拡幅整備を行い、森林の総合利用の促進、山村の生活環境の整備を図った。 	125
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観音ヶ池周辺整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観音ヶ池市民の森にトイレを設置し、利用者の利便性の向上を図った。 	126
④水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藻場環境推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 市内4漁協の共同漁業権内に藻場増殖プレートを設置し、管理及び追跡調査を行い藻場の機能維持・回復を図った。 	126
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魚類種苗放流事業 <ul style="list-style-type: none"> 各漁協と連携を図り、漁業所得向上及び漁業資源の保全のため、魚類種苗(マダイ、ヒラメ、カサゴ等)の放流を実施した。加えて、市独自の市民参加による放流事業を実施し、つくり育てる漁業を推進した。 	126-127
	<ul style="list-style-type: none"> ○ まぐろ漁業振興対策事業 <ul style="list-style-type: none"> まぐろ漁船母港基地化の推進により、平成28年度は5隻(まぐろ漁船1隻、運搬船4隻、水揚げ3回)の出入港があり、物資・餌料等の積み込みが行われ、水産業はもとより市内産業経済の振興に寄与した。また、まぐろフェスティバル開催事業への補助、薩州串木野まぐろプロジェクト支援により、串木野港母港基地化の推進や本市在籍の漁船が漁獲したまぐろの付加価値向上、まぐろ漁業の振興を図った。 	127
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水産多面的機能発揮対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 藻場・干潟等の維持・回復に資する環境・生態系保全対策に取り組む対象活動組織への交付金の交付を行うとともに、活動組織に対する指導を行うなど、本対策の円滑な推進に取り組んだ。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沿岸漁業活性化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 漁業協同組合が実施する生産性の向上、経営の近代化、魚食普及を図るための施設整備等に要する経費に対し市単独で助成し、沿岸漁業の振興を図った。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種子島周辺漁業対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 市来町漁業協同組合において、地域産物展示販売施設に食堂施設を増設し、消費者に地元の鮮度の優れている鮮魚や加工品を常時安定的に提供する事によって、魚食普及と水産物の消費拡大を図るとともに魚価の安定を図り、水産業の振興や漁業経営の安定化を推進した。 	128
<ul style="list-style-type: none"> ○ 漁港・漁場の整備 <ul style="list-style-type: none"> 漁港整備による静穏度の向上や魚礁設置による漁場の整備等を行ったことで、沿岸漁業の振興を図った。 	126 129	

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照ページ
⑤商工業の振興	○ 商工振興資金利子補助金 商工業の育成、振興を目的とし、商工会議所又は商工会を通じての制度資金の借入者に対し、利子の一部補助を行い、商工業者の経営安定を図った。	
	○ いちき串木野づくし産業まつり「～地かえて祭り～」 本市の商工業、農林業、水産業等の関係団体や行政が一体となったイベントとして、地場産業の宣伝及び販路拡大並びに観光資源のPRを行い、本市の産業振興と地域の活性化を図った。	
	○ 食の拠点エリア直売所整備事業 農林水産物や特産品の販売を目的とした「いちき串木野物産さのさ館」を「食彩の里 いちきくしきの」の敷地内に整備を行い、本市の食の魅力の情報発信、交流人口の増加を図った。	131
	○ 商工業者店舗リフォーム・空き店舗等活用促進事業 既存事業者が行う店舗の改装への補助(商工業者店舗リフォーム)や市内の空き店舗等を活用し、新規開業を行う事業者に対し補助(空き店舗等活用促進事業)を行い、市内商工業の育成及び振興を図った。	
	○ 海外販路開拓支援事業 市内特産品の輸出促進及び串木野港の開港指定に向けた貨物取扱量の拡大を目的として、シンガポールで開催された日本食見本市「Food Japan2016」にいちき串木野市ブースを出展し市内事業者と共に販路拡大を図った。同時に、市場調査やアレンジ検討及び英語サイト作成を行った。	83
⑥観光振興	○ 薩摩藩英国留学生記念館 五代友厚や子ども向けの特別企画展、村橋久成や長澤鼎をテーマにしたイベントを開催し、記念館の誘客や新たなファンを構築した。また、JR九州バスと連携を図り広域観光ルートのコースに記念館を設定し誘客増に努めた。 観覧者数:28年度末日-127,673人	133-134
	○ 観光PR いちき串木野市観光特産品協会や各種協議会と連携を取りながら、毎週土曜日のラジオ放送、テレビCM、キャラバン隊の派遣、イベント開催、パンフレット作成配布等により本市をPRし、観光客誘致に努めた。	132-133
	○ 総合観光案内所運営事業 観光ボランティアガイドの育成、グリーンツーリズム協議会の運営、第3種旅行業によるツアーの実施、観光用総合ホームページの内容を充実する等、観光客受け入れ態勢の充実を図った。	134
	○ いちき串木野体感魅力アップ事業 総合観光案内所による、観光周遊バス(EATこぐるぐるバス)を運行し、本市への観光交流人口の促進を図った。	
	○ いちき串木野市観光地環境整備事業 冠岳花川砂防公園に、観光案内板及び駐車場トイレを設置し、観光客の増大、利便性の向上を図った。	133
	○ 国民宿舎民間譲渡等検討 串木野さのさ荘は民間譲渡した。 吹上浜荘については、今後の利用形態について検討協議し譲渡募集を行った。	132

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
⑦食のまちづくり	<p>○ 食のまちづくり推進事業</p> <p>1 産業の振興～地産地消の推進、付加価値向上、人材育成～ ・食の拠点エリア整備事業(駐車場等の整備、排水樋門整備) ・特産品通信販売事業(いちき串木野うんまかもんお取り寄せガイド) ・特産品普及事業(まぐろ特産品スタンプラリー、焼酎で乾杯条例施行3周年記念イベント)の実施 ・学校給食の地元食材の使用促進 ・各種料理教室の開催など</p> <p>2 福祉及び健康の増進～食育推進、啓発活動～ ・EATde健康メニューの開発支援事業 ・食育イベント「食のまち いちき串木野キャンパス」の開催 など</p> <p>3 教育及び伝承～食に関する指導、地域世代交流・学習の機会～ ・地場産物を活用した親子料理教室の開催など ・生涯学習講座、まちづくり出前講座、いきいき女性講座等での料理教室等の実施 など</p> <p>4. 観光及び交流～観光資源の調査研究及び開発、地域資源の保全、魅力の発信、人材育成～ ・観光周遊EATパスの運行 ・いちき串木野まちなか市の開催支援 ・新聞、テレビ、ラジオ等マスコミを活用した情報発信 ・国民文化祭「食の祭典」開催支援 など</p> <p>5. 環境の保全～自然環境の保全、循環型社会の構築～ ・河川等の水質調査 ・合併処理浄化槽設置補助事業 ・3R運動の推進 など</p> <p>6. 安全で安心な食のまちづくり～食の安全の調査研究～ ・安心安全な農作物づくり講習会の開催 など</p>	<p>81 107 118-119 127-128 130-131 153 155-156 163</p>
	<p>○ ふるさと納税推進事業 ふるさと納税制度を活用し、地場産業の振興のために数多くの特産品を返礼品として、ふるさと納税専門サイトや新聞等で広告を行い、特産品や事業者等のPR・販路拡大等を行った。</p>	<p>79</p>

(2) 企業誘致

	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
	<p>○中小企業基盤整備機構から事業承継で取得した西薩中核工業団地を中心に、補助制度の改正及び土地賃貸借制度等で誘致を促進し、1件の増設が図られた。</p>	<p>82-83</p>

4. 利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』

(1) 道路網整備

主要施策項目	主要施策の概要	実績等参照ページ
①国、県道の整備	○ 国・県道整備の促進 主要地方道川内串木野線及び郷戸市来線の改良事業により、主要幹線道路の整備が促進された。また、国道3号を安心安全な空間にするため神村学園前駅周辺の交通安全調査を行った。	140-141
②市道等の整備	○ 道路新設改良事業による道路整備(中向線外) 市民の生活に密着した道路改良として中向線外15路線の整備を行うとともに、社会資本整備総合交付金等を活用して、平佐原線外23路線の整備と蒲牟田橋外9橋の補修を行い安全な通行の確保に努めた。	135-140
	○ 交通安全施設整備 郷之原ガタ下線の歩道の改良事業等を実施し、交通安全の確保を図った。	140

(2) 生活環境・施設の整備・促進

主要施策項目	主要施策の概要	実績等参照ページ
①都市計画	○ 麓土地区画整理事業 内陸部開発の拠点事業として麓土地区画整理事業の宅地造成、排水工、道路築造等の整備を図るとともに家屋移転補償も行った。	142
	○ 都市下水路維持整備 塩田川都市下水路の浚渫並びに酔之尾・浜ヶ城下水路等の除草を行い、周辺地域の雨水対策と水質浄化を図った。	143
②住宅対策	○ 公営住宅建設事業 ウッドタウン建設により人口増加を図るとともに、南九州西回り自動車道の整備に伴う住宅需要の増加に対応しようとするもので、平成28年度までに市営54戸、県営は平成12年度で54戸の建設を完了。 ウッドタウン住宅2戸	144
	○ ひばりが丘団地屋根外壁等改修事業 2棟26戸(公営住宅長寿命化計画)	
	○ 定住促進対策補助事業 分譲団地における住宅取得に優遇措置を行うことにより定住の促進と人口流出の抑制を図った。 ・住宅建築(購入)補助金:1件(うち市内業者加算1件) ・定住奨励金:2件 ・土地購入補助金:2件	81
	○ 転入者住宅建設等補助事業 分譲団地以外への転入者の住宅建設及び購入を支援することにより定住の促進を図った。 ・住宅建築(購入)補助金:19件(うち若者加算10件、定住奨励加算12件、市内業者加算1件)	

主要施策項目	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
③生活用水 対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上水道事業 麓土地区画整理事業に伴う配水管布設替工事を実施した。 その他に、老朽化などに伴う河内地区や港町、大藪などの配水管布設替工事を実施した。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易水道事業 ・中央地区で、中ノ平浄水場送水設備等工事、中ノ平中継槽築造工事、川上ポンプ場送水設備工事、才野中継ポンプ場の改修工事及び外戸配水管布設工事を実施した。 その他に老朽管更新対策として、配水管布設替工事(市道中原線)を実施した。 ・羽島地区で、小ヶ倉水源地改修事業を実施した。 ・羽島地区、生冠地区、荒川地区、中央地区、大里地区の5地区の水道施設の適正な維持管理のもと安定した給水に努めた。 ・平成29年度から簡易水道事業を上水道事業に統合するため、統合作業を実施した。 	111 168-174
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小規模簡易水道事業 ・中ノ平地区において、給水申請に伴う配水管布設修繕を実施した。 ・中ノ平・松比良地区、池ノ原地区、久福地区の3地区の水道施設の適正な維持管理のもと安定した給水に努めた。 	
④生活排水 対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道事業 公共下水道の水洗化も順調に増加しており、水洗化率は90.1%となっている。本年度までの整備状況は、整備面積321.84ha、整備率94.7%となっている。 ○ 戸崎地区漁業集落排水事業 地元管理組合と連携を図りながら適正な管理・運営に努めた。 ○ 公共下水道事業区域外及び戸崎地区漁業集落排水区域外については、単独処理浄化槽及び汲取からの転換に対する補助を行い、合併処理浄化槽設置整備事業の推進に努めた。 ○ 雨水対策として、塩田ポンプ場の維持管理を行い、浸水防除に努めた。 	110 129 143 188-195 215-219
⑤ごみ処理 施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 串木野環境センターの運転に必要な点検整備及び修繕等を行った。 ○ 現在の最終処分場が満杯になることから、新しい最終処分場を平成30年2月末完成に向けて、建設中である。 	113-114

(3) 串木野新港建設

	主 要 施 策 の 概 要	実績等参照 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 串木野新港改修統合補助事業 串木野新港の港湾施設である新港大橋の鋼材の被覆防食等の補修を行い、港湾利用の促進に努めた。 	141